

東部地区

復興まちづくり協議会・地権者連絡会

議事要旨

■開催日時：令和2年1月27日（月）15時00分～16時32分

■開催場所：釜石情報交流センター 釜石PIT

■次第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. 東部地区の事業スケジュールについて
4. 空き区画公募について
5. 街路灯・防犯灯の設置について
6. 台風第19号による被害状況及び今後の対応について
7. 避難路・避難所について
8. （仮称）尾崎町郷土芸能伝承施設改築工事について
9. 釜石港海岸・釜石漁港海岸の防潮堤について
10. 甲子川水門の進捗状況について
11. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

東部地区の港町地区や新浜町地区の住居戸数の概算はどれくらいあり、現在の残存率はどのくらいなのか。

回答

住居の残存率の考え方については、改めて整理した後にご報告させていただきたいと考えております。

質問 2

東部地区の復興事業を進めるにあたり港町地区や浜町地区の近隣住民の方たちには用地買収だけではなく、代替え地の提供などの配慮はしているのか。

回答

基本的に東部地区へ居住をお考えの方には代替え地をご紹介させていただき、用地買収の実施をしております。

質問 3

東部地区の人口が減らないような政策を今後すすめていただくと共に東部地区が早期に復興できるよう要望する。

回答

要望として承ります。

質問 4

図面⑤番の地域に住んでいて津波と台風第19号の浸水に遭ったのだが、今後またこのような災害になった場合の対策はあるのか。

回答

市の内部で協議をし、どのようにして対策するかを検討していきたいと考えております。

質問 5

図面⑤番の脇のところの墓地の石垣が津波の際に水をかぶり崩れてきているが修繕が進んでいない。どこに訴えればいいのか。

回答

市の内部で協議をし、どのようにして対策をするかを検討したいと考えております。

質問 6

防潮堤の階段について、漁師さんが使っている船着き場のところには現在階段がないのだが、今後設置の予定はあるのか。

回答

確認してニュースレターで回答させていただきます。

→質問の場所の陸閘は、津波の水位上昇によって自動的に閉鎖する構造であり、津波到達前には開いたままの状態であるため、避難階段は設置しません。

なお、津波警備等の発令を受け、遠隔操作により閉鎖する陸閘には階段が設置されています。

質問 7

台風第19号による水害の地域をもう一度調査して、現実浸水や土砂災害がどの辺まで想定されるのかということの把握をしてほしい。

回答

現在、発生箇所や浸水箇所、被災箇所を現地を歩きまわして、測量等しながら調査させていただいております。

質問 8

台風第19号による土砂を個人で処理して宅地に積んでいるので、早く回収してほしい。

回答

市の担当部署と協議をし、てご連絡させていただきます。

→建設課にて対応済

質問 9

大只越の暗渠の詰まりや、ふたを越えての越水等の現状はわかっているのか。いずれ直す予定はあるのか。

回答

越水や、市内各所の土砂のたまりなどの状況は十分承知しております。蓋のなかった水路の底は結構荒れてひどい状況ですので、今年度はコンクリートでの補修の実施を予定しております。

閉 会

【野田市長】

それでは、最後ということでお話をさせていただきます。

今日は本当に皆さんお忙しいところお集まりをいただきまして、大変ありがとうございました。そして、さまざまなご意見をいただきました。最後にお話しされた方のように、自分の住んでいるところが被災しているにもかかわらず地図に載っていない、あるいはまだ土砂を運んでくれないとか、いろいろと思いがたくさんあるのだらうと思います。

今日の図面については、先ほど担当のほうから話がありましたとおり、市内で大体200カ所ぐらい被害がございます。その中で特に大きなところが大体100カ所ぐらいございまして、そこを今国の担当者が来て、災害査定ということで国がちゃんとお金を出すことができるかどうかというところを今協議しているものですから、今日も建設部の担当者の出席が足りなかったと思うのですが、いずれ国のほうの災害査定という事業を現在していきまして、それが終わりますと明確に災害指定がされるというところがまず1つございます。

そこまでいかなくても、そういった災害があったという場所については、先ほど申し上げましたとおり何カ所もございしますが、それを一覧にして、機会があったらぜひ皆さんと協議をさせていただければありがたいなと、こう思っております。いわゆる災害が発生した後の後始末が、ちゃんとなされているのかどうか、まだ残っているというところもございしますので、そういったところを一件一件確認しながら進めていきたいと思っております。昨年の10月13日からもう3カ月も経過しているわけですが、ぜひできるだけ急いで、災害の起きた場所の後始末、これの確認を急いでさせていただきたいと、こう思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、先ほどの話のように、暗渠が詰まっているのではないかと、ちゃんと確認しているのかというご指摘でございまして、まさにそのとおりだと思ひており

ます。担当者としては全て終わった、あるいは確認したということなのでしょうけれども、そういったことも住民の皆さんが確認して初めて安心が生まれると思いますので、地域の皆さん、住民の皆さんが安心感を持てるような、そういう発表の仕方もしていかなければならないということを確認させていただければと思っております。

今検証委員会、専門の大学の先生をお呼びいたしまして、検証委員会を立ち上げているところでございまして、先ほどの汐立ポンプ場のことも含めてですが、特に東部地区の、先ほど浜町の方のお話もありましたけれども、なぜこんなふうな状況になったのか、今後雨降ったときに少しでもこうした災害を防ぐにはどうしたらいいかとか、そういったところを専門の先生方のご意見も聞きながらぜひ対応させていただきたいと思っております。いずれちょっと時間がかかるかと思っておりますので、大変申しわけないですが、この東部地区のまちづくりとはまた別に、台風についての説明会のようなものはできるだけ早い段階で開催したいなと思っております。

まず、先程も話がありましたとおり、まだ片づけができていないとか、そういったところがあったらば、ぜひ連絡をしていただければありがたいと思っております。

それから、先ほど冒頭で東部地区のグリーンベルトのところに住んでいた方々は一体どうなったのだとか、あるいは浜町、新浜町の方々はどうなったのだというお話がありまして、まさにそのとおりだと思います。いずれあそこの場所は、もう既にグリーンベルトは建っていますから、そこに住んでいる方々は誰もいないわけですし、浜町から新浜町にかけましても、あの近辺は住んではいけない場所、工場とか、そういった場所としては使いますが、家を建てて住むということはないでほしいと、そういう場所としましたので、結果あそこには誰も住んでいないということになるわけでございます。今まで住んでいた方々は、できるだけ東部地区に集まっていたいただいて家を建てる、あるいは復興住宅に入ると、こういう政策をずっと当初から進めてきたところでございます。特に復興住宅の大方は東部地区に集中させていただいたわけでございまして、東部地区には360戸の復興住宅をつくっておりますから、簡単にいえば1,000人は住んでいるということになるわけでございまして、できるだけ東部地区の人口を減らさないように努めてきたところでございます。

それから、あいている土地にはできるだけ東部地区の方が優先的に住めるようにしましたので、そういった方々もこの東部にそのまま住んでいただけるように

しておりますが、そうはいってもそれぞれの事情がありますから、東京に行くとか、盛岡に行くとか、あるいはまた釜石市内でも鶴住居に行くとか、甲子に行くとか、いろんな方々がおられると思いますので、最終的には恐らく半分、6割ぐらいの方々は戻ったと思いますが、そうでない方々は多分ほかの地区にお住まいの方が多いのだろうと思っています。先ほどどうなっているのだと、何人になったのだというお話でございますが、いずれ整理して、いずれかの時期に皆さんにもお示しをしなければならないと思っていますが、今のところは多分6割から7割ぐらいは戻ってきたであろう、それ以外の方々は東部を離れたであろうというふうに推定をしているところでございます。

先ほどあいている土地がまだありますよと、これからその土地に家を建てたい方はどうぞ申し込んでいただきたいという募集を始めますというお知らせを申し上げましたが、そういったこともございますから、あいている土地がまだあるのだと、これから家を建てたいという方がおられましたら、ぜひ活用していただければと思います。

冒頭話しましたがけれども、まだ仮設にお住まいの方が82世帯ございまして、その方々の大半は今から家を建てようとしている方々でございまして、もちろん82というのは東部だけではなくて市内全域ですから、東部に何人来るかはわかりませんが、いずれこれからも被災された方がどんどん家を建てるのは、まだ今年度も続くということでございますので、その点よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、浜町の方が裏の墓地が崩れそうだとか、先ほどいろんなお話がありました。地域の課題については、地域会議等でも皆さん共有しております。ただ、なかなか手がつけられないものについてはいろんな事情があつて、工事ができないという理由があつてのこととございまして、知らないでいるわけではなくて、わかっていますが、要は他人のもんですから、簡単に手がつけられないといういろんな事情があつてのこととございまして、いずれ浜町の皆さんも検証委員会の中に入っていますから、改めてそちらのほうも検証しながら、できるだけ皆さんの不安を払拭するように努力をさせていただきたいと思ひているところでございまして。

あと、いずれ今日お話がありましたとおり皆さんのおかげで何とかここまで復興が進んできたということでございまして。残るところは、今日県のほうの発表がありましたけれども、防潮堤、水門がこれから工事が入るところまで来ましたので、ほぼ大きなところはあらかた形が見えてきたなというところでございまして。冒頭申し上げましたとおり、グリーンベルトが間もなく3月に完成をいた

しますので、ぜひみんなでグリーンベルトの上を歩いてみながら、東部地区の全体の復興の姿をご覧になっていただければありがたいなと思っておりまして、そういうイベントといたしますか、そういう機会もぜひつくらせていただければありがたいと思っているところでございます。

まだまだ皆さんにとりましては、雨が降るたびに、あるいはまた地震が来るたびに不安の中で生活をしていただくような状況になっておりまして、大変申しわけなく思っておりますが、できるだけ皆さんに少しでも不安のないようにこれからも我々も努力をさせていただきたいと、こう思っているところでございます。東部地区の皆様におかれましては、今後とも何かありましたら遠慮なくお話をさせていただくということで、今日の会議は終了とさせていただければと思っております。長時間にわたりましてご意見をいただきました。今日いただきましたご意見については、きちんと我々としても受けとめて精査をして、次の会にはきちんと皆さんにお伝えできるようにさせていただければと思っております。長時間にわたりまして、ありがとうございました。

【司会】

それでは、以上をもちまして東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会を終了いたします。お疲れさまでした。